



Intersight Workload Optimizer の開始

- [Cisco ID を使用したログイン](#) (1 ページ)
- [Intersight Workload Optimizer の有効化](#) (1 ページ)
- [Intersight Assist の展開](#) (必要な場合) (2 ページ)
- [新しいユーザーを作成し、ロールと権限を与える](#) (4 ページ)
- [ワークロードの最適化](#) (4 ページ)

Cisco ID を使用したログイン

既存の Cisco Intersight アカウントまたは Cisco ID をすでにお持ちの場合は、ログインしてください。 <https://intersight.com/>

新しい Intersight ユーザーの場合は、Cisco Intersight アカウントを作成します。

1. Intersight アカウントを作成する場合は、 <https://intersight.com/> にアクセスしてください。Cisco Intersight アカウントを作成するには有効なシスコ ID が必要です。シスコ ID をお持ちでない場合は [こちら](#) から作成してください。
2. [アカウント名 (Account Name)] を入力します。アカウント名には、英字 (a~z、A~Z)、数字 (0~9) またはハイフン (-) のみを含めることができます。

Intersight Workload Optimizer の有効化

トライアルライセンスを使用するか、Intersight Workload Optimizer ライセンスを購入して登録することで、Intersight Workload Optimizer の使用を開始できます。

トライアル用 Intersight Workload Optimizer ライセンスの使用

Intersight のトライアルライセンスを使用して Intersight Workload Optimizer が提供する機能の調査を開始するには、次の手順を実行します。



注目 製品のトライアル ライセンスは 1 回のみ使用できます。

1. Intersight にアカウント管理者権限でログインします。
2. [設定 (Settings)] アイコンから[設定 (Settings)] > [ライセンス (License)] を選択します。
3. [トライアルを開始 (Start Trial)] をクリックします。
4. [Workload Optimizer] を選択します。

Intersight Workload Optimizer ライセンスの購入と登録

Cisco Ordering Tool を使用して、Intersight Workload Optimizer ライセンス階層を購入できます。詳細については、『Cisco Intersight Data Sheet』の「[Ordering Information](#)」を参照してください。

Intersight で Intersight Workload Optimizer ライセンスを登録するには、次の手順を実行します。

1. Intersight にアカウント管理者権限でログインします。
2. [設定 (Settings)] アイコンの[設定 (Settings)] > [ライセンス (License)] から、[登録 (Register)] をクリックします。
3. [トークン設定 (Set Token)] ページで、[製品インスタンス登録トークン (Product Instance Registration Token)] を入力します。[Cisco スマートソフトウェアマネージャ (Cisco Smart Software Manager)] をクリックして、Intersight 登録トークンを取得します。スマートアカウントをお持ちでない場合は、[ここで作成してください](#)。[次へ (Next)] をクリックします。
4. [製品の設定 (Set Product)] ページで、[Workload Optimizer] をオンに切り替え、必要なライセンス階層 (Essentials、Advantage、Premier) を選択します。Intersight Workload Optimizer のライセンス階層の詳細については、「[Intersight Workload Optimizer のライセンス](#)」の項を参照してください。



注目 Intersight Workload Optimizer のプロビジョニングには、最大で 15 分かかります。

Intersight Assist の展開（必要な場合）

Cisco Intersight Assist は、エンドポイント デバイスを Cisco Intersight に追加するのに役立ちます。データセンターには、Cisco Intersight に直接接続しない複数のデバイスを含めることができます。Cisco Intersight でサポートされているが、直接接続しないデバイスには接続メカニズムが必要です。Cisco Intersight Assist は、その接続メカニズムを提供し、デバイスを Cisco Intersight に追加するのに役立ちます。Intersight Assist の導入およびその他の Intersight 機能の適

切なサイジングについては、『[Cisco Intersight Assist Getting Started Guide](#)』を参照してください。

Intersight Assist のリソース要件

Cisco Intersight Assist は、VMware ESXi 6.5 以降に導入できます。ここでは、Cisco Intersight Assist for Intersight ワークロード オプティマイザをインストールして展開するためのシステム要件について説明します。



- 注目
- オンプレミス ターゲットを要求するには、最小サイズで Small の Intersight Assist が必要です。
 - Intersight Assist がすでに展開されている場合は、サイジング要件を確認します。必要に応じて、『[Cisco Intersight Virtual Appliance Getting Started Guide](#)』の「Sizing Options」セクションを参照してサイズ変更の手順を実行します。

| リソース要件 | システム要件 | |
|----------------|--------------------|-----------------|
| | [小 (Small)] | [中 (Medium)] |
| vCPU | 16 | 24 |
| RAM (GiB) | 32 | 64 |
| ストレージ (GiB 単位) | 500 | 500 |
| 設定の導入 | 最大 1000 の仮想マシン | 最大 30000 の仮想マシン |
| サポートされるハイパーバイザ | VMware ESXi 6.5 以降 | |

**最大 100,000 台の仮想マシンを導入するには、vCPU を 32、RAM を 96 GB 以上に増やします。

[宛先の登録 (Register Targets)]

新しいターゲットを要求するには、次の手順を実行します。

1. Intersight にアカウント管理者、デバイス管理者、またはデバイス技術者の権限でログインします。
2. [管理 (Admin)] > [ターゲット (Targets)] > [新しいターゲットの要求 (Claim a New Target)] に移動します。
3. [要求に使用可能 (Available for Claiming)] を選択し、要求するターゲット タイプを選択します。
4. [開始 (Start)] をクリックします。
5. 必要な詳細情報を入力し、[要求 (Claim)] をクリックして、要求プロセスを完了します。

ワークロードをモニタし、環境でアクションを実行するためのターゲットの設定の詳細については、『[Cisco Intersight Workspace Optimizer Target Configuration Guide](#)』を参照してください。

新しいユーザーを作成し、ロールと権限を与える

Intersight はロールベースアクセス制御 (RBAC) を提供して、ユーザーロールと権限に基づいて、ユーザーへのシステムアクセスを承認または制限します。Intersight では、組織と呼ばれる論理エンティティを介してリソースを分離することで、アカウントのマルチテナント機能も実現します。Intersight のユーザーロールは、一連の操作を実行するためにユーザーが持つ特権のコレクションを表します。これらのロールはユーザーまたはシステムで定義でき、リソースへのきめ細かいアクセスを提供します。サポートされるロール、関連する特権、組織の作成、ユーザー定義のロール、ユーザー、ユーザーグループの追加、ロールの作成と切り替えの詳細については、[Intersight](#) での [ロールベースのアクセス制御](#) を参照してください。

ワークロードの最適化

Intersight にログインしたら、[ワークロード最適化 (Workload Optimizer)] > [概要 (Overview)] に移動して、Intersight Workload Optimizer が提供する機能の使用を開始します。

[概要 (Overview)] から、[表示 (View)] を選択して、環境の概要を表示します。Intersight Workload Optimizer の他のページに移動します。以下のものがあります。

- [検索 (Search)] : 環境についての詳細にドリルダウンするためのセッション範囲を設定します。
- [プラン (Plan)] : what-if シナリオを実行します。
- [配置 (Place)] : Intersight Workload Optimizer を使用してワークロードの最適な配置を計算し、指定した時間に配置を実行するよう設定します。
- [ダッシュボード (Dashboard)] : 環境の詳細に焦点を当てたチャートを使用してカスタムビューを設定します。
- [設定 (Settings)] : ビジネスルールとポリシーを設定し、ターゲットを設定し、グループの定義を行い、その他の管理タスクを実行するように Intersight Workload Optimizer を設定します。

Intersight Workload Optimizer の使用の詳細については、『[Cisco Intersight Workload Optimizer Target Configuration and User Guide](#)』を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。